

令和2年9月18日(金)



四中だより

第12号 校長 生野 まゆみ

校長より

少しずつ、秋の気配が感じられるようになりました。学校では、中間考査が終わったところです。ほっと一息、というところでしょうか。

～全校朝礼・校長の話～

9月15日(火)にZOOMで全校朝礼を実施しました。校長からは、2つ話しました。

【交通安全】毎年、9月には全校交通安全運動が行われています。皆さんは、きっと交通ルールを守っていると思います。しかし、交通ルールを守っているからと過信せず、危険を回避する能力をはたかせましょう。「青信号だから大丈夫」ではなく、「青信号でも左右の確認を怠らない」ということです。また、そういう考え方は、他でも有効で、例えば校内の見通しが悪いところでは、「誰かとぶつかるかもしれない」と危険が予測でき、回避することにつながります。

【安心】心配なこと、いやなこと、どうしていいかわからないことなど、心が重くなることはありませんか？みんな、多かれ少なかれそういうことがあると思います。ずっと心が重いままだと参ってしまいます。そんなとき、どうしていますか？そんなときは、抱え込まずにぜひ、誰かに相談してください。家族、友達、先生、スクールカウンセラー、相談窓口など、相談先は色々あります。校長室に来てくれてもいいです。悩みを解決して、安心して毎日過ごせるようにしましょう。

保護者向けリーフレット

「どうしたの？」一声かけてみませんか
～子供の不安や悩みに寄り添うために～

東京都教育庁指導部・地域教育支援部が発行している資料を配付しました。参考にしていただけたらと思います。

保護者向けリーフレット

「どうしたの？」一声かけてみませんか

～子供の不安や悩みに寄り添うために～

新型コロナウイルス感染症の影響により、いろいろな活動が制限される中、多くの子供たちが、通常とは異なる様々な不安やストレスを抱えていることが考えられます。

子供のもののアア 子供にいつもと違う様子や、小さな変化が見られることはありませんか？
子供が不安や悩みなどのストレスを抱えると、心や体に影響が出ることがあります。まずは、子供の変化「こころのSOS」に気が付くことが大切です。

表情や態度の変化

- 小さなことで泣く。
- 視線を合わせようとしない。
- 笑顔がなく、泣いている。
- 学校や友達のことを話したがる。
- 感情の起伏が激しい。
- 周囲を気にして、おどおどしている。

身体や服装の変化

- 食に食欲がなくなったり、あるいは過食になったりする。
- 急に寝起きられなくなった。
- 風呂に入るのを躊躇くさがるようになった。
- 体の痛みやかゆみを感じる。
- 眠れない、口角が壊れたり、ボタンが取れたりしている。

行動や人間関係の変化

- 家族に反抗的になり、ものを壊すなど、攻撃的になる。
- 学校に行きたがらず、休日でも家に居るようになる。
- ゲームや面白い事など、好きなこともやりたがらない。
- 不安げにスマートフォン等を気にしたり、SNSを見たりしている。
- 一人になるのを嫌がり、強い甘えがあらわれる。
- 口付き合う友達が増えたり、友達のことを聞くことが多くなる。

令和2年9月 東京都教育庁指導部・地域教育支援部

秋の全国交通安全運動

9月21日(月)から30(水)まで

9月の安全指導で、生活指導主任からパワーポイントを使い「自転車の乗り方について」クイズ形式で話をしました。

Q自転車の運転で違反なのは？

- ①スマホを見ながら…
- ②イヤホンで音楽を聴きながら…
- ③2人乗り
- ④並走（2台で並んで）
- ⑤傘を差しながら…

ご家庭でも、交通安全について話題にさせていただけたらと思います。



避難訓練

毎月、避難訓練を実施しています。コロナ対応で全校一斉に校庭へ避難するのではなく、教室止まりの訓練をする学年と、校庭までの避難をする学年とを分けての実施です。今回は、1年生が校庭まで避難をしました。初めての経験だったので、椅子の下にネットをつけているヘルメットを取り出したり、かぶったりで手間取る生徒もいました。何度か訓練をするうちに手早くできるようになるでしょう。



防災

「津波てんでんこ」という言葉を聞いたことがありますか？津波が来たら、とにかく1人1人が、それぞれ自分の命を守る行動を起こす、といった意味です。東日本大震災において、大津波に遭遇しながらも、小・中学生約3千人のほとんどが助かった岩手県釜石市で、先人から受け継がれてきた教えです。

(岩手県のホームページより)
大震災が起きる前に、釜石市が実践していた津波防災教育の基本は、三陸の言い伝えである「津波てんでんこ」の精神でした。子どもたちは、一人でも避難できる知識を地域の避難所マップづくりや避難訓練によって学び、また、いざという時には「てんでんこ」に避難できるよう、避難場所や待ち合わせ場所について、家族と話し合っていたのです。

学校で実施する避難訓練は、先生が音頭を取っていますが、登下校中、交通機関を利用しているとき、買い物をしているときなど、自分でどう行動するか判断しなければいけないときも多くあります。交通安全でも伝えましたが「危険を予測し回避する能力」がここでも問われます。毎月実施する避難訓練を機会に、いろいろな状況を想定し、考えておくことが大事です。

「てんでんこ」
防災ノート
P 87
に掲載されています。



*10月の行事予定は前号に掲載しました。